



保健だより 5月号

2021年4月30日(金)
羽鷹池ひだまり保育園
看護師 佐野 文香

新しい生活がスタートして1か月が経とうとしています。多くの子どもたちは新しい環境にも少しずつ慣れ、自分のペースで園生活を楽しむ姿が見られるようになってきました。5月始めは大型連休がありますが、生活リズムに気を付けて、連休明けに元気に登園されることをお待ちしております。

☆4月の感染・受診状況☆

感染状況：感染性胃腸炎(疑い含む) 25名
うちノロウイルスの診断 2名
RSウイルス感染症 2名

園からの受診状況： なし

★5月の保健行事★

身体測定・アタマジラミ検査

17日(月) めばえ・つぼみ・かえで

18日(火) つばさ・いぶき



水いぼ・とびひ

水いぼ

見た目は数ミリから5mm程度、表面はやや光沢を帯びていて、その皮膚の中には白い色を透けてみることのできる、ぷくっとしたできものです。一般的には症状はありませんが水いぼの周りの皮膚がやや乾燥したりするとかゆみを伴うこともあります。水いぼは体のどの部分にも発症しますが、特に腋や足の付け根などの皮膚同士が密着するような部分に複数の水いぼが発生する事があります。

プールの水では感染しませんが、タオルや浮輪を介したり(間接感染)、子ども同士で直接触れる(接触感染)ことで感染することもあります。保育園では、水着で覆われていれば入水は可能ですが、掻き壊して傷から浸出液が出ている場合は、水着で覆われていても入水はできませんので注意して下さい。

とびひ

とびひは、細菌による皮膚の感染症です。虫刺されや湿疹、あせも、転んでできた傷などをひっかいて二次感染を起こすと「とびひ」になります。鼻には様々な細菌がいる為、鼻を触るクセがあると、とびひになりやすいといわれます。プールに入ることによって悪化させたり、他の子どもたちにうつしたりするおそれがあるので、完全に治るまではプールに入ることができません。



★水いぼ、とびひの治療中の場合は職員にお知らせ下さい★



4月に入り感染性胃腸炎の児が急増し、有症状者が一定を超えた為、20日に豊中市へ報告し、検便検査を提出しました。検査の結果ノロウイルスが検出された為、嘔吐や下痢、吐き気や軟便がある時はノロウイルスの可能性がります。必ず受診し、園に結果の報告をお願いします。

◎症状があるうちは、ご家庭での療養をお願いします。

◎園で下痢や嘔吐を認めた場合は保護者様へ連絡させていただきます。

(リモートワークや出張等で連絡先が変更の場合は事前にお伝えください)

◎ご家族で同症状があり在宅で療養される場合は、園児の在宅にご協力ください。

ノロウイルスについて

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、手指や食品などを介して、感染し嘔吐・下痢・腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化することがあります。

●潜伏期間…24~48時間

●症状…主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛です。発熱は軽度の場合が多く、通常これらの症状が1~2日続きます。

※感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

●注意点…脱水予防に水分補給を心がけましょう。吐き気のある時は無理に水分を取ると嘔吐を誘発してしまうので少し落ち着いてからごく少量ずつ水分を与えます。嘔吐が無ければ少しずつ水分量を増やしていきましょう。

※水分がなかなか取れず、脱水が疑われる時は受診しましょう。

●嘔吐・下痢で汚れたものの処理…嘔吐物や便には大量のノロウイルスが排出されます。適切な処理を行う事で二次感染を予防しましょう。

①使い捨ての手袋・マスク・ガウンなどを着用する。

②新聞紙等で覆った後、塩素系消毒液を注ぐ。

③10分程放置した後、静かにふき取る。

④再度塩素系消毒液で拭いた後、水拭きする。

⑤ふき取った嘔吐物や手袋などはビニール袋に密閉して廃棄する。

⑥丁寧に手洗いを行う。

☆塩素系消毒液の作り方

嘔吐物・便の消毒(濃度5000ppm:水1.5ℓに対して125ml)

便や嘔吐で汚れた衣服等の消毒(濃度1000ppm:水1.5ℓに対して25ml)

※塩素系消毒液の原液濃度が6%の場合です。

※使用期限内の物を使用し、薄めた後はすぐに使います。

※塩素系消毒液には漂白作用がありますので色柄物の使用にはご注意ください。



症状が治っても、長くて1か月は便にウイルスが含まれています。継続して適切な処理と手洗いを行いましょう。

